市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

▲たくさんの来場者の前で披露された琉球国祭り太鼓

地域みんなで夏まつり

第24回豊原夏まつり

8月6日、豊原小学校のグラウンドで豊原夏まつりが開催されました。この祭りは、子どもたちの健全な育成と地域住民の親睦を深めるために毎年開催されています。恒例の子どもみこしでは、各地区ごとに制作したかわいいみこしを子どもたちが「わっしょい、わっしょい」と元気な掛け声で披露。また、琉球国祭り太鼓も披露され、太鼓の音と一糸乱れぬ華麗な踊りで会場を沸かせました。フィナーレでは花火が打ち上げられ、夏の夜空を飾りました。

交通事故が無くなりますように

交通安全を願いウオールアート

国道208号線と有明海沿岸道路が交わる徳益交差点付近にある大坪GSI株式会社は8月18日、交通安全を願って小学生のウオールアートを行いました。有明沿岸道路が出来て交通量が増えたことから、同社敷地内の沿岸道路沿いにあるブロック14m分に、社員の子どもたち14人が交通安全の願いを込めてパトカーや救急車、トラックなどの車の絵を丁寧に制作。参加した児童は、「交通事故が無くなるよう願いを込めて描きました」と話しました。

交通安全を願ってブロックに絵を描く児童

参加者は掘割にEM泥だんごを投げ入れた

掘割の水をきれいにしたい

掘割にEM泥ダンゴを投入

掘割の水質をきれいにしようと、市と「よみがえる有明海ネットワーク・ちくご」は8月20日、伝習館高校北側の水辺の散歩道沿いにある掘割約300mに、EM泥だんご2800個を投入しました。4月に同校野球場北側の掘割に投入してから2回目の取り組み。ここの掘割はヘドロが多く堆積している場所だといい、4月の時よりも800個多くEM泥だんごを投入しました。この日集まった約20人の参加者は、EM泥だんごを次々と投げ入れました。

ステージに駆けより手拍子する観客もみられた

障がいがある子どもを元気づけた

水の郷で福祉コンサート

8月10日、水の郷ホールで福祉コンサートが行われました。このコンサートは、障がいがある子どもを元気づけようと、社会福祉法人たからが企画。集まった約100人の観客を前に、ブラスバンドの演奏や絵本の読み聞かせを行いました。大川樟風高校ブラスバンド部が「崖の上のポニョ」や「ルパン三世」などの曲を演奏すると、観客の中には、立ち上がって音楽に合わせて手拍子をする人も見られました。

逆境に耐えてまっすぐ成長

上宮永町の民家でフェンスの中にゴーヤ

上宮永町の大賀ツネヨさんが自宅に植えたゴーヤが、金網でできたフェンスの手すりの中で成長し、周囲を驚かせました。このゴーヤは大賀さんが5月ごろに植えたもの。いつの間にか直径5㎝の手すりの部分に入り込んだようです。大賀さんの娘さんから連絡を受けて取材した8月5日には、長さ30㎝ほどに成長していました。大賀さんは「夏の日差しで金網も熱いのに、耐えて成長する姿に力強さを感じます」と感心していました。

フェンスの手すりの中に収まったゴーヤ

水も人もキラリ

川柳

今月の入選作品・課題「影・陰」

常連の研ぎ屋はいつもこの木陰

日髙貴美（矢留本町）

そうだいつもこの時期この場所で。シャキッシャキッ。研ぎあがる寸前その音は透明感を増した。あの頃どこにもその道の職人がいた。刃物だけではない。鍋も釜も。物を大切にする風潮はどこかへ。戦後六十六年、遠くなる昭和。

流青

住き町よ汲水場の影にメダカ群れ　金子弘子（京町）
母の背に陰と日向がしょってある　鶴岡定子（東蒲池）
人生の陰も日向も走り抜け　野片義博（隅町）
緑陰に風と私と思い出と　古賀麗子（吉原）
夏祭り踊子衆の影ゆれる　椛島忠常（南浜武）
逆さ富士どちらも日本一の山　大橋弘茂（百町）
原発の平和利用に影おとし　内村美子（七ツ家）
陰を追い日ざしに追われ草を抜く　古賀幸子（横山町）
病以後小さくなった父の影　川渕　学（佃町）
面影に忘却ならず仰ぐ月　田中位緒枝（豊原）
父の影踏まず連れ添う母がいた　古賀治美（南浜武）
駆け出すと母の影まで付いてくる　横山　保（徳益）
木の葉陰命短かしせみ時雨（しぐれ）　西田トミ子（中島）
蔭膳を供えて祈る今日の無事　砥上征夫（鷹ノ尾）
繁忙時ひとりは欲しい影武者が　浦　哲之（栄）
少しだけ球児の日陰夏帽子　梅崎達也（七ツ家）
人生は後から影がついてくる　徳永智宥（徳益）
新盆にふと母の影よこぎりぬ　持永マサ子（新外町）
ほどほどの我が人生に影薄し　江口和子（今古賀）

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。10月の課題は**「道」**です。入選作品は10月1日号に掲載します。

●**応募方法**　川柳と明記し、自作、未発表の作品（**※1人3句以内**）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、FAX74・5520）へ、**9月15日（※必着）**までにお送りください。

道なりのどれもが海にたどり着く　流青